



**開催レポート**

**6フェス実行委員会**

*office action* *Office tieup* garage BLD

過去最大のエントリーとなったロクフェス 15。  
 今年はダートフリークさんの協力もいただき  
 やっぱり今年もサイコーの夏となったのです。



2023年8月27日  
 会場：プラザ阪下  
 文章：ロクフェス実行委員会  
 写真：ドロみちゃん

そうなんだ、もう15回目なんだ。  
 そんな2023年の夏、今年もとても暑かったその夏の終わりに15回目のロクフェスが始まりました。

オフィスアクシオン始めてまもない頃、記憶と記録が残るダートバイクレースイベントはないかと企画を考えていた頃、耐久レースはどうだろうか？

以前にもありました。すみれ21さんの「カノロク」、ナカサコプロジェクトさんの「シアーズ8時間」などなどプラザ阪下での花形レースイベントが！

ならば俺たちでもやるうじゃないかと奥村、藤岡、川辺、3名を巻き込んだの実行委員会を立ち上げたのです。レース名は？そうやなあ、の時間も苦しいやんか、それなら楽しく走れるそして楽しく遊べるお祭りではないじゃない？

で考えたのがお祭り＝フェスティバルなんだと。そしての時間。決まった名前が「6フェスティバル」プラザ阪下」耐久レースなんてやった事ない試行錯誤の中で実行委員会が動き出しました。

思い起せば第1回目の参加チームは61。参加選手は127名。そしてストイックな6時間アイアンマックスゼッケン1は高橋信也さんでありました。それから15年以上経過した今でもその頃の大多数の参加選手はまだまだ現役です。

ここまで15回、これから果たしてあ

と何回開催できるのか。この先の未来のロクフェスを繋ぐことは出来るのか？そんな思いを持つ実行委員会の想いを綴りたいと思います。

好条件に恵まれて全てが順調に進みました。しかしその6時間の中には波乱万丈なドラマがあり参加者全員が楽しかったり悲しかったりの記憶と感動でゴールを迎えることができ

ました。ありがとございませう。実行委員会のメンバーも同じ思い。少し語ってまいります。

**藤岡けんけん編**

あ、どうも。けんけんです。2009年から毎年開催し、15回目の開催となったロクフェスですが、エンデューロライダーにとって、夏の終わりの代名詞となりつつあることを実感した今大会でした。

記念大会ということもあってか、エントリー開始直後から多数のエントリーを頂き、最終的にはピットのキャパシティの問題等から、早期締切りをさせていただきましたが、エントリーチーム数106チーム(250名)のエントリーを頂きました。

今大会は、7月にミニモトのロクフェス「ちびロク」を開催したため、B1クラスの併催は行わず、久しぶりのフルコース開催となりました。

当初は、ちびロクのコースと全く同じにするつもりでしたが、多数のエ

ントリーで初阪下の方もおられたので、安全を重視してBコースのジャンプ部分をカットしました。

皆さんが撮影してくれた動画を見ると、けっこう数珠つなぎ状態での走行が多かったようなので、危険回避が出来て良かったかなと思っていました。

また、ピットの前のストレート区間は、追い越し禁止区間とさせていたできました。

これも安全対策で、ピットへの砂埃発生の抑制とその後のシケインでの転倒・衝突防止。加えて、この区間でハイドレーションの飲料を飲んでもらうという意図でした。

多くの方は、ゆっくり走行して給水していただいていたね。その効果か、熱中症の症状が出た方の報告はありませんでした。

集計後にゆずり区間として左右にレーンに分けたのも初の試みでしたが、それぞれのペースが異なる耐久レースでは安全に効果があったのではないかと考えています。

今大会、最大の懸念はピットでしたが、昨年より割り当ての面積が狭くなったにもかかわらず、みなさんが譲り合ってくれにピットに収まっていただけでした。  
 大きいチームが率先して、マナーやモラルを守ってくれるのが、またロクフェスの魅力ですね。

混雑しやすさ(ピットレーン) (ピットロード)は昨年より拡幅しましたが、徐行を守っていない人がいたのは残念でした。

個別の注意はさせていただきましたが、来年はみなさんで声を掛け合って、安全なピットエリアにしていたければ嬉しそうです。

スタートは恒例のル・マン式でしたが、チームが多いので、1列目をアイアンマン 2列目ツインズ・三人衆・四人組 3/4列目マイバイクラスの4回スタートとなりました。

フライングなどありましたが、大きな混乱もなくスタート出来ました。が、最終の4列目スタート直後にトップのNAMEZO選手が戻ってきたのは驚きました(想定より速すぎでした)

その後のレース展開は、MCおやじちゃんとのレポートにお願ひするとして(笑)...

今大会ロクフェス15の開催を終えて、あらためて思いました。

上位入賞を目指すチーム、トラブルを乗り越え完走を目指すチーム、夏の思い出づくりなチーム(笑)、いろいろなチームがあって、それぞれのロクフェスなんでしょう。

一つ言えるのは、ロクフェスはライダーだけのレースではなくチームやサポートメンバー、友人や家族と一緒に楽しむレースだということです。



▲協賛のダートフリーク石田シャチャョー。自らも参戦。ありがとうございます！

また来年も、皆さんに色々な形で楽しんでもらえらるるよう実行委員会は頑張ります。また来てね。

おやじちゃん編

たかさんのエントリー、本当にありがたかったです。途中でエントリーを締め切ってしまうほどの盛況ぶり、ここまで15回やってきたことは間違ってたかったんだ、そしてこれからも続けてほしいんだと自信から確信に変わった(誰の名言でしたっけ?) (笑)でした。

準備から想定以上に大変でした。

まあ足りるやろう、と甘く見ていたアクシヨンケアのカードが底をつき、急遽紙のカードに切り替えしました。アクシヨンケアカードは今年度をもって発行を終了する方向です。

(カードがなくなるだけで皆さんにおいては何も変わりません。)(レース直前に何とか間に合ったエ

ントリーリストを見てみるとまあそろそろたる面々がそろってました。全日本エンデューローアのGAMMYやマイカルチャンプまで。GAMMYはチャンプルー辻谷選手に挑むためにやってきたそう。マイカルチャンプは残念ながら体調不良で欠場となりました。ほかに来年挑戦したい、という元MX-1Aも控えています。ウチもいよいよXジヤアになってきました。わたしたちもさら

にがんばりますですよ。さてさて、レースは、どうとちよつとブツ飛んだフライングスタートなどもありましたが概ね正常にスタートしていきました。そして全員がスタートし終えていないのに帰ってきてしまった(スタートはギリギリ間に合いましたw) トップは昨年覇者の#14 NAMEZO。#34 GAMMY。#3チャンプルーと続きますが#14 NAMEZOがとにかく飛ばす。あつという間に30秒も引き離していきました。そこで余裕を持ってしまったのか、はたまたエンデューローアのプライドに火をつけてしまったのか#34 GAMMYが猛追。一時はNAMEZOの真後ろにまで迫るいきおいをみせたがここでGAMMYがピットイン。ふたたびNAMEZOが逃げられていく。そのあとは誰も手が付けられない感じでひとり旅がはじまった。

GAMMYはじわじわと離されていき、チャンプルーもさらに離されていく、トップ3台はそれぞれ完全に

単独走行となってしまった。この体制になると上位陣の動きはほぼなくなり、誰がやらかして脱落するか、という流れ。

しかし、誰もやらかせない。動きがない。実況しても話すことがなくなってきた(汗)ちよつとつまらなくなってきた(お)このあたりからガス欠、ケガ、熱中症などの事案がじわじわと出てきだしました。

実行委員会形式とは言うもののレースの切り盛りはオフィスアクシヨンの守備範囲。少数精鋭でやっているスタツプはあと一人いればちよつとこののに、という絶妙な状態。なのでMCのワタシも時には現場に入ります。放送が止まっているときはどこかに入ルプに行ってるか何か食べてるか居眠りしている時です笑

中盤戦に入りモータリツ追ひ上げを見せてきたチームが。全日本選手権直前のIBライダー2名を擁する#102 ヨソコ倶楽部&JERRY、Sの面々。実は...ウチのスタツプですなん。自分のステイント(※乗っている時間のこと)以外はマーシャルをするという強硬策。全日本のほうが大事だろうに。まあ本人たちはいささかやり過ぎた感(笑)はありますがイケイケで走つたのでまあええんちゃうかな、と。1周目の36位からスタートして3時間経過時点では5位にまで順位を上げてきた。さあ、どこまで上り詰めてくるのか。トップのNAMEZOは手ごわいぞ。

さて、いよいよ終盤戦、逃げていったNAMEZOはぶつちぎる。3位の#102 ヨソコ倶楽部&JERRY、Sはどんどん追ひ上げていきます。2番手のGAMMYはペースが上がらない。#102に1周ごとに1分詰められ最大12分あった差をあっという間に使い切る。そして5時間経過時点で2番手の座を明け渡してしまふ。続く#3チャンプルーも続けとばかりにどんどん差を詰めてくる。最大8分半あった差が94秒にまで迫り、本人も「見えた。いける(後日談)」とアクセルが開く。しかし大きな問題がありました。

燃料が...もたないぞ。

ラスト2周にて泣く泣くのピットイン。この間に#103 @tyass830 Brat's & KAMEに先行され総合5位に後退。さすがのちゃんぶるの追ひ上げもここまで。

第15代ロクフェスウイナーは圧巻の走りだNAMEZOの連覇となりました。

いやあ、ホントこの暑の中よくやりますよねー、とエアコン完備の集計ブースから感心しておりました。一部熱中症とみられる症状の方や大転倒してしまった方もいらっしゃったものの重大なインシデントはなく終了することができました。もう来年の話が聞こえてきておられますがで



うしてくれようか。今回は15回記念  
 でしたが来年秋にオフィスアクション  
 フは創業20周年を迎えるのでありま  
 す。ロクフェスで何かやるのか、そ  
 れとも20周年記念のイベントをやる  
 のかはまだわかりませんがあの手こ  
 の手で皆さんを変わらずお待ちした  
 いと思います。ぜひ来年も万障繰り  
 合わせのうえで参加いただけますよ  
 うお願いいたします。

レースはエントリーの時からしまっ  
 ているんだぜ。

これまでの途中は楽しくバイクに  
 乗って楽しく盛り上がりたうと色々  
 企画を考え実行しました。薄れゆく  
 記憶の中でもアレがあった。コレも  
 やった。本当にお祭りフェスティバル  
 なコトもありました。

企画倒れも多々ありの忘れようとし  
 て記憶が薄くなりながらもここまで  
 きました。ですがこの直近は参加者  
 の勢いに押されての「走って楽しい」  
 の気迫がひしひしと感じられます。

やっぱりあと何回出来るのではなく  
 未来永劫に続けなければですね。辻  
 谷選手のV10を超える猛者が現れる  
 まで！現れたらその時その後を考え  
 よう。（私、奥村は虹の上からの観  
 戦かな）ガッパレNAMEZO私を  
 早く楽にして（笑）

第15回目は過去最高の参加チームと  
 参加者で大盛り上がりでした。本当  
 にありがたうございました。まだま  
 だロクフェスは、関西のそしてプラ  
 ザ阪下の名物として続くよとしま  
 ども：

